

満足度調査（2023 年度） 分析結果

学修支援センター・IR 推進センター

2024 年 3 月 13 日

本資料は、2023 年 9 月 11 日から 9 月 29 日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、満足度に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、抽出形式で 2013 年度前期から、悉皆形式で 2017 年度前期から年 2 回ずつ行ってきた。しかしながら、最近、学生向けの別調査やアンケートの機会も増えてきたことも踏まえ、2019 昨年度から昨年度までは学修状況と満足度を年度末にまとめて調査してきた。今年度は、後期開始時に変更して実施した。

昨年度までは学部・学年別に分析してきたが、今回は全学部・全学年まとめて行う。回答数は 396 で、2023 年 10 月 1 日時点の在籍者数に対して、23.97%の回答率であった。昨年度の回答率より 18 ポイントほど高い結果であり、調査時期の変更などの取組みが功を奏したと考えられるが、依然率が低めの状況が続いている。







調査における質問項目をこの資料の最後に添付する。本調査では、学修支援に関して授業の難易度や支援の必要性を、学生支援に関して健康面・経済面等の支援の必要性を尋ねた。また、それぞれについて質問の後に満足度と判断理由を回答してもらった。さらに、今後の改善に向けた意見・アイデアを募っている。

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果をまとめる。なお、質問 1 は、学修時間に関する項目であり、こちらの分析は「学修状況調査（2020 年度）分析結果」にまとめている。

質問 2. 「学修支援」の必要性和評価

質問 2 は 6 項目で構成されており、このうち(ア)～(エ)では学修支援に関する状況把握と支援の必要性を回答する形式となっている。回答は、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 段階と「分からない」の中から選択させた。図 1～4 の配色は、次のようにしている。

回答内容

 : 「そう思う」、 : 「どちらかといえば、そう思う」、 : 「あまりそう思わない」、
 : 「そう思わない」、 : 「分からない」、 : 未回答

平均的な授業の難易度についての学部別回答分布は、図 1 のようになった。全学で「そう思う」が 7.6%、「どちらかといえばそう思う」が 27.0%で合わせて 34.6%となった。2020 年度までの回答状況と比較して、2018 年度が 49.5%、2019 年度が 39.4%、2020 年度が 37.8%と減少傾向が見られる。

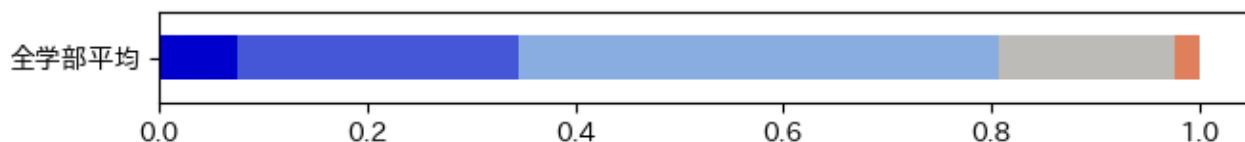


図1 「2(ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか」の回答分布

また、普段の授業で難しさを感じることもあるかを問うたところ、回答分布は図2のようになった。質問内容が近いので、結果は2(ア)と同様であった。

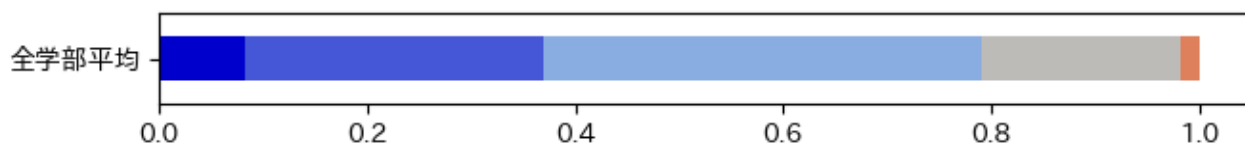


図2 「2(イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追いつけないと感じることはありますか」の回答分布

学修に対する支援が必要かどうか尋ねたところ、結果は図3のようになった。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は44.9%であった。一定数の学生が支援を必要としている状況が見られるが、合計が5割を超えていた2020年度よりも減少している。

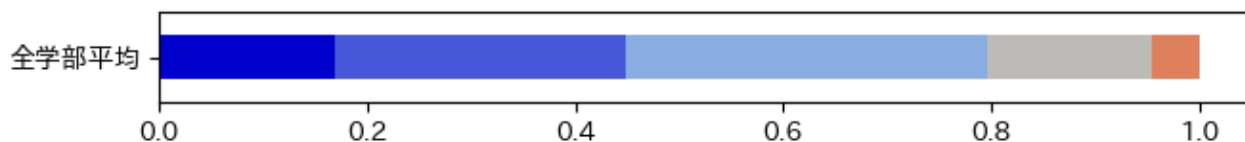


図3 「2(ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか」の回答分布

支援を必要としている学生が、実際に本学で提供している学習相談窓口やオフィスアワーなどの利用を考えるか確認した結果は、図4のようになった。2(ウ)での支援の必要性と比べると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は40.7%と数ポイント少ない。

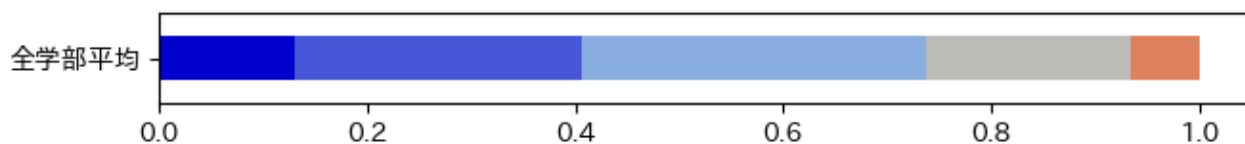


図4 「2(エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(エ)を踏まえ、2(オ)では学修支援に対する満足度を尋ねた(図5)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図5の配色は、次のようにしている。

回答内容

■:「満足」、■:「どちらかといえば、満足」、■:「どちらかといえば、不満」、
■:「不満」、■:「分からない」、■:未回答

回答分布を見ると、「満足」が24.7%で「どちらかといえば、満足」を合わせると74.2%であった。2020年度の同質問への回答（合計が56.0%）と比較して16.2ポイント増加している。

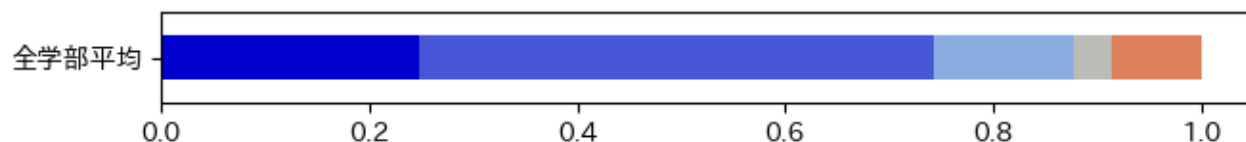


図5 「2(オ) 学修支援や学修環境についての満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

2(カ)では、前問(オ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は43.7であった。「満足」の理由としては、教職員の対応の良さ、授業内容の適切さ、自習室などの環境整備があげられていた。一方、「不満」と「どちらかといえば、不満」の理由には、授業中の私語、施設・設備（教室、通信、開館時間帯など）が理由としてあげられていた。

質問3. 「学生支援」の必要性と評価

質問3は7項目で構成されており、このうち(ア)～(オ)では、学生支援に関する状況把握と支援の必要性を尋ねている。回答は、質問2(ア)～(エ)と同じく、「そう思う」から「そう思わない」までの4段階と「分からない」の中から選択させた。図6～10の配色は、次のようにしている。

回答内容

■:「そう思う」、■:「どちらかといえば、そう思う」、■:「あまりそう思わない」、
■:「そう思わない」、■:「分からない」、■:未回答

(ア)では、心身の健康維持に対する支援の必要性を尋ねた(図6)。「そう思う」が19.4%、「どちらかといえば、そう思う」が24.5%で、合わせて43.9%が必要性を感じている。2020年度調査と比較すると、「そう思う」が6.0ポイント、「どちらかといえば、そう思う」が2.2ポイント増加している。

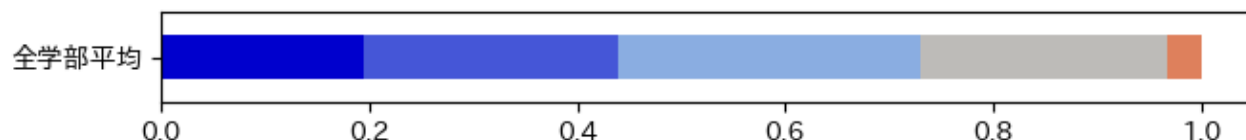


図6 「3(ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

学費や生活費等の経済面での支援に対しては、図7の回答分布となった。「そう思う」が33.3%、「どちらかといえば、そう思う」が30.8%と、支援の必要性が高い。一定数の学生が支援を必要としている状況が見て取れる。ただし、2020年度調査と比較すると「そう思う」が7.9ポイント、「どちらかといえば、

「そう思う」が 0.9 ポイントそれぞれ減少している。

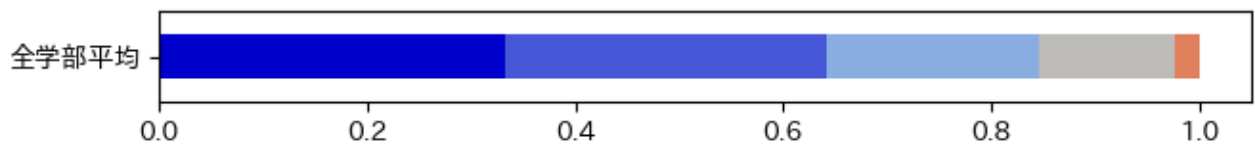


図 7 「3(イ) 経済面 (学費、生活費など) について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

正課外の活動への支援に関しては、図 8 のように、「そう思う」が 20.7%、「どちらかといえば、そう思う」が 26.5%で、これらを合わせて 47.2%であった。2020 年度の回答分布と比べ、これらの合計率は数ポイント増加した。正課外の活動は学部によって状況が異なるため、次回は学部別の状況も踏まえて調査する。

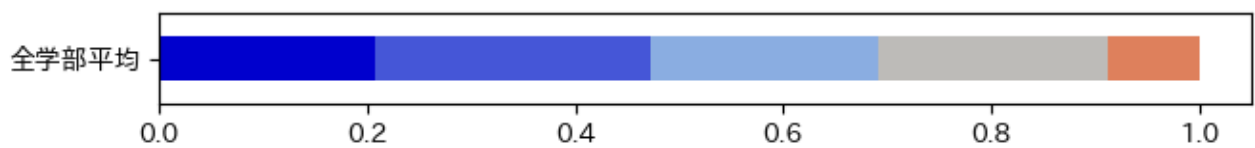


図 8 「3(ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

他の学生や教職員との人間関係についての支援に対しては、図 9 の回答分布となった。前問と同様、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計率は 2020 年度調査に比べ数ポイント増加した。

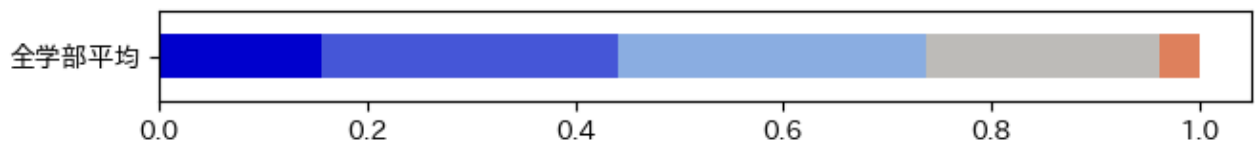


図 9 「3(エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

3(ア)～(エ)では対象別に支援の必要性を尋ねたが、(オ)では支援を必要とする学生が、本学が提供している保健室、カウンセリング制度、及び相談窓口の利用を考えたかどうかを確認した (図 10)。2020 年度と比べると、「そう思う」が 4.1 ポイント増加し、「どちらかといえば、そう思う」と合わせた率も 10 ポイント以上増加した。(イ)の経済的支援以外が 2020 年度より増加傾向があることが、この質問への回答にも現れていると考えられる。



図 10 「3(オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(オ)を踏まえ、3(カ)では学生支援全体に対する満足度を尋ねた(図11)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図11の配色は、図5と同じく、次のようにしている。

回答内容

- : 「満足」、 ■ : 「どちらかといえば、満足」、 ■ : 「どちらかといえば、不満」、
- : 「不満」、 ■ : 「分からない」、 ■ : 未回答

(ア)から(オ)までの支援の必要性が高いもしくは増加傾向にあったのに対して、この質問への回答は「満足」が31.6%と低めのものの、「どちらかといえば、満足」の46.5%を合わせると78.0%が満足している状況が見られた。2020年度調査と比べると、「そう思う」は20ポイント近く増加している。一方、「分からない」が10.9%と、これまで同様に一定の割合居ることが分かった。

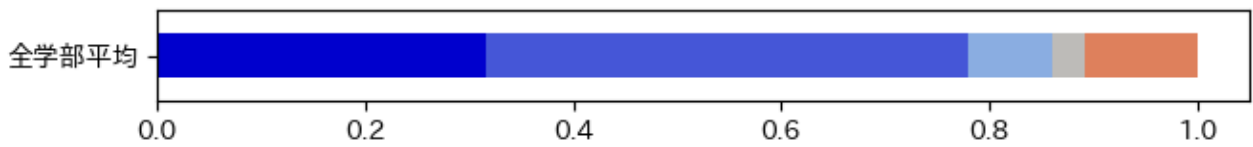


図11 「3(カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

3(キ)では、前問(カ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は32.6%であった。「満足」の回答理由には、教員の対応の良さ、正課外活動・経済・就職活動・カウンセリングといった支援があげられていた。一方、「不満」の理由には、相談方法の分かりづらさなどがあった。また、「満足」と「不満」の両方に、「職員の対応」と「施設」に関する理由があげられていた。

質問4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください

この設問は、これまでの学修時間・学修行動調査で常に最後に尋ねてきたものである。今回は76件の回答が寄せられた。以下に分類とそれぞれの主な内容をまとめる。

- 学生支援
 - 相談しやすい環境の整備、自主的な活動の支援、奨学金制度の充実
- 施設・設備
 - ネットワーク環境、冷暖房の環境、全体的な施設・設備の改善
- その他
 - 他学生の迷惑行為対策、学生の意見を集約する仕組み、アプリの活用、資格対策

これらの内容は、前回までの学修時間・学修行動調査と同様のものも多い。

なお、この設問(質問4)の回答と、学修支援に関する満足度の回答理由(質問2(カ))、学生支援に関する満足度の回答理由(質問3(キ))は、それぞれ個人が特定されないようにした上で、内容を整理して教職員間で共有するとともに、学生委員会や教務委員会などが回答を作成して掲示している。

2023 年度「学修状況・満足度調査」(満足度の部分)

2. 「学修支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか
- (イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じることはありますか
- (ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか
- (エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか

- (オ) 「学修環境」についての満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (カ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

3. 「学生生活に関する支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか
- (イ) 経済面（学費、生活費など）について、支援が必要だと思っていますか
- (ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか
- (エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか
- (オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか

- (カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (キ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください